

福岡県医師会第194号(地)

平成20年4月22日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 横 倉 義 武

(公 印 省 略)

日本糖尿病対策推進会議が実施する「日本糖尿病対策推進会議活動
に関する評価調査」について

標記の件につきまして、日本医師会より別紙のとおり通知がありました。

本件は、平成17年2月に日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の3者で設立した日本糖尿病対策推進会議において作成した、「糖尿病治療のエッセンス」の活用について把握すること、また、糖尿病診療における医療連携等について現在の意識、状況等を把握し、今後の糖尿病対策の活動を評価するための資料とすることを目的として、別添のとおり、「日本糖尿病対策推進会議活動に関する評価調査」を実施することとなった旨をお知らせするものです。

本調査では、日本医師会の会員から、都道府県ごとに100名、計4,700名を無作為に抽出し、日本糖尿病対策推進会議より対象者に調査票等が直接送付されております。

つきましては、貴会におかれましても本調査の趣旨をご理解いただき、会員より照会があった場合には、上記趣旨をご説明いただきますようお願い申し上げます。

なお、提出期限が4月30日(水)日本医師会必着となっておりますことを申し添えます。

記

(別添資料)

- ・「日本糖尿病対策推進会議活動に関する評価調査」ご協力をお願い
- ・「日本糖尿病対策推進会議活動に関する評価調査」調査の趣旨
- ・調査票一式

日医発第 60 号(地Ⅲ17)

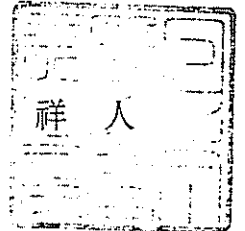
平成 20 年 4 月 16 日

都道府県医師会

会長 殿

日本医師会

会長 唐 澤



日本糖尿病対策推進会議が実施する「日本糖尿病対策推進会議活動
に関する評価調査」について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成 17 年 2 月に日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の 3
者で日本糖尿病対策推進会議を設立いたしました。平成 19 年 8 月には、日本
歯科医師会、平成 20 年 2 月には、健康保険組合連合会、国民健康保険中央会
が構成団体として加わり、糖尿病対策推進活動を進めているところであります。

今般、日本糖尿病対策推進会議において作成した、「糖尿病治療のエッセン
ス」の活用について把握すること、また、糖尿病診療における医療連携等につ
いて現在の意識、状況等を把握し、今後の糖尿病対策の活動を評価するための
資料とすることを目的として、別添のとおり、「日本糖尿病対策推進会議活動
に関する評価調査」を実施いたしております。

本調査では、本会の会員から、都道府県ごとに 100 名、計 4,700 名を
無作為に対象者として抽出し、対象者に調査票等を直接お送りしています。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただきますよう、
よろしくお願い申し上げます。



「日本糖尿病対策推進会議活動に関する評価調査」
ご協力のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、国民の健康増進と生活の質の向上のために患者や地域住民に対し、ご尽力されておりますことに対し、心から敬意を表します。

さて、糖尿病は、今や国民病と称しても過言ではない状況にありますが、自覚症状がないがゆえに受診をしない、あるいは治療を中断する人が大勢いることが指摘されております。

このような現状と糖尿病は開業医を中心として多くの診療科の医師が、その治療にあたっていることから、平成17年2月に日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の3者で糖尿病対策に積極的に取り組むために、日本糖尿病対策推進会議を立ち上げました。平成19年8月には、日本歯科医師会、平成20年2月には、健康保険組合連合会、国民健康保険中央会が構成団体として加わり、糖尿病対策推進活動を進めているところです。

糖尿病対策を進めていく上で、かかりつけの医師の機能の充実が重要であると考えており、医師向けの啓発資料として「糖尿病治療のエッセンス」を作成し、日医雑誌（平成17年3月号、平成19年3月号）に同封し日医会員へ配布するとともに、日医ホームページへの掲載等で情報提供しています。

今般、本資料の活用状況、糖尿病診療における医療連携等、現在の状況について把握し、日本糖尿病対策推進会議として、今後の活動の参考とするために調査を実施することといたしました。

日本医師会の会員から、無作為抽出した結果、貴殿を対象者として選定させていただきましたので、本調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、ご多忙とは存じますが本調査票にご記入の上、同封の返信用封筒で4月30日（水）までにご返送いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具

平成20年3月

日本糖尿病対策推進会議
会長 唐 澤 祥 人

「日本糖尿病対策推進会議活動に関する評価調査」 調査の趣旨

1. 目的

平成17年2月に日本糖尿病対策推進会議を設置し、糖尿病対策に取り組んでいます。本調査は、医師向けの啓発資料として作成した「糖尿病治療のエッセンス」の活用について把握すること、また、糖尿病診療における医療連携等について現在の意識、状況等を把握し、今後の糖尿病対策の活動を評価するための資料とすることを目的とします。

2. 調査対象

日本医師会の会員を各都道府県ごとに100名、計4,700名を無作為抽出しています。

3. 提出期限

平成20年4月30日（水）＜日本医師会必着＞

4. 調査方法

無記名の調査票を同封しております。調査票に回答をご記入いただき、同封の返信用封筒で提出期限までにご投函ください。

5. 調査の実施にあたって

調査は無記名になっております。回答いただいた内容につきましては、調査結果を集計表としてまとめるものであり、個人を特定できるような情報が公表されることはありません。また、調査結果をこの調査目的外に用いることはありません。

6. その他

本調査についてご不明な点がございましたら、日本医師会地域医療第3課（TEL：03-3942-8181、FAX：03-3946-2684、mail:c3@po.med.or.jp）までご照会ください。

日本糖尿病対策推進会議活動に関する評価調査票

当てはまるものに○、もしくは記入して下さい。

【基本事項】

先生ご自身のことについてお尋ねいたします。

問1. 性別を教えてください。 1. 男 2. 女

問2. 年齢を教えてください。 () 歳

問3. 所属の医療機関の所在地（都道府県名）をご記入下さい。 ()

問4. 所属する医療機関はどれですか？

1. 無床診療所 2. 有床診療所（病床数： 床） 3. 病院（病床数： 床）

問5. 勤務形態はどれですか？ 1. 開設者・管理者 2. 勤務医

問6. 何科を標榜されていますか？○をつけて下さい。（複数回答可）

1. 内科 2. 呼吸器科 3. 消化器科 4. 循環器科 5. 外科 6. 整形外科
7. 小児科 8. 産婦人科 9. 精神科 10. 皮膚科 11. 泌尿器科 12. 眼科
13. 耳鼻科 14. その他 ()

問7. 糖尿病患者を診療されていますか？ 1. はい 2. いいえ

→「はい」の方へ ① 1日の平均糖尿病患者数は、およそ何人ですか？

1. 外来 () 人

→1日の全体の患者数のうちの比率は、およそ何%くらいですか？ () %

2. 入院 () 人

→全体の患者数のうちの比率は、およそ何%くらいですか？ () %

→「はい」の方へ ② 糖尿病の治療にあたり目標とする HbA1c 値はどれですか？

1. 5.8% 2. 6.5% 3. 7.0% 4. 7.5% 5. 8.0% 6. その他 ()

問8. 75gブドウ糖負荷試験(OGTT)をされていますか？

1. はい 2. いいえ

問9. インスリン治療をされていますか？

1. はい 2. いいえ

問10. 所属する医療機関で栄養指導はできますか？ 1. はい 2. いいえ

問11. 日本糖尿病対策推進会議をご存知ですか？ 1. はい 2. いいえ

問 12. 日本糖尿病対策推進会議が作成した、「糖尿病治療のエッセンス」の資料をご存知ですか？

- 問 13. 「糖尿病治療のエッセンス」の資料をお持ちですか？

- 問 14. 問 13 で、「1. ある」とお答えいただいた先生にお尋ねします。

問15. 問14で、「2. 活用していない」とお答えいただいた先生にお尋ねします。(複数回答可)

問 16. 糖尿病治療のエッセンスの内容に関しての意見がありましたらご記入下さい。

[illegible]

【糖尿病診療における医療連携について】

問 17. 糖尿病患者の診療に際して、他の医療機関との連携を行っていますか？

1. 行っている 2. 行っていない

問 18. 問 17 で、「1. 行っている」とお答えいただいた先生にお尋ねします。

1. 連携先の医療機関は？（複数回答可）

(ア) 大学病院等の病院

(イ) 糖尿病専門の診療所

(ウ) 他の異なる診療科の診療所

→ a. 眼科 b. 皮膚科 c. その他（ ）

(エ) その他（ ）

2. 具体的な連携の形態は？

(ア) 医師同士の個人的なつながりによるもの

(イ) 研究会など組織化されているもの

(ウ) 既に連携パスを有しているもの

(エ) その他（ ）

3. 糖尿病の医療連携は、先生の日常診療の役に立っていますか？

(ア) 役に立っている

(イ) 役に立っているとはいえないが、連携が負担にはなっていない

(ウ) 役には立たず、むしろ負担のほうが大きい

(エ) その他（ ）

問 19. 逆紹介（糖尿病専門医→一般開業医等）の依頼があったら受けますか？

1. はい 2. いいえ

→ 「はい」の方へ 逆紹介の患者に対してインスリン治療を行いますか？

1. はい 2. いいえ

問 20. 糖尿病の医療連携のメリットは何だとお考えですか？（複数回答可）

1. 専門医で治療が必要な患者の紹介

2. 自院ではできない検査の紹介

3. 診断や治療にかかわるコンサルテーション

4. 糖尿病に限らず、多方面での連携の契機

5. 地域全体の糖尿病診療の向上

6. 経営上必要な患者数の確保

7. 患者数の削減

8. 患者からの信頼感の向上

9. 訴訟対策

10. その他（ ）

【その他】

問 21. 糖尿病治療に関わる認定等をお持ちですか？

1. 日本糖尿病学会専門医
2. 日本糖尿病協会→ a. 登録医 ・ b. 療養指導医
3. その他 ()

問 22. 先生の糖尿病診療をサポートするために、日本糖尿病対策推進会議の今後の活動に何を期待されますか？何かございましたらご自由にご記入下さい。

※ご協力ありがとうございました。

日本糖尿病対策推進会議